

南区内で行われた防災訓練の一部を紹介します



南区防災訓練

札幌市では、大規模地震などの自然災害による被害を軽減するため、災害への対応力強化や各機関との協力体制の確立を目的に、市や地域住民などが一体となり、各区で防災訓練を実施しています。

今年の南区防災訓練は、札幌市で震度6強の地震が起こり、南区内で建物の倒壊や火災が発生したという想定の下、澄川小学校で行われました。

発災対応型訓練

避難場所へ向かう途中で発見した火災や、倒壊建物の下敷きになった負傷者に対応するため、初期消火班、バケツリレー班、救出班、担架搬送班に分かれて訓練を実施。それぞれ、初期消火や倒壊建物からの負傷者救出などに取り組みました。

収容避難所運営訓練

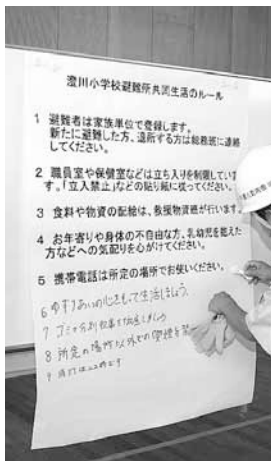
避難所の運営をスムーズに行うための訓練として、避難者名簿の作成などを行う自主運営訓練を実施。避難所での共同生活を営むためのルール作りや、給水車から水を受け取り、飲料水を確保する訓練などを行いました。



澄川小学校へ自主避難開始



煙道で煙を体験



共同生活のルールを作成



澄川地区 自主防災総合訓練

澄川地区では、13の町内会全てが参加し、地区連合会全体で、自主防災組織を構成。

町内会の枠を超えた地域ぐるみの防災対策が評価され、平成15年度に「第8回防災まちづくり大賞 消防科学総合センター理事長賞」を受賞しています。

訓練の様子

同地区では、毎年自主防災訓練を実施しており、今年で14回目。澄川中学校の生徒も参加し、消防ポンプを使用した放水訓練のほか、心肺蘇生法訓練やAED(自動体外式除細動器)の操作訓練、毛布を使った応急担架の作製などを行う救出救護・搬送訓練が行われました。



一定のリズムで圧迫

総勢350人が参加!



川沿中央第5町内会 自主防災組織訓練

川沿中央第5町内会は、地域で防災意識を高めようと、4年前から自主防災訓練に取り組んでいます。

毎年訓練を実施しており、今年は昨年よりも参加者が増え、若い世代の参加も進んでいます。今年の訓練は角材と毛布を使った応急担架の作製や、応急用水槽の組み立て、バケツリレーによる消火訓練などを行いました。

訓練以外の取り組み

同町内会では、訓練以外の取り組みとして、地域内の防災マップを独自に作成。また、災害時の連絡網を整備し、災害弱者となる一人暮らしの高齢者や母子世帯の居場所を把握して、災害に備えています。



重いから気を付けてね



初期消火は素早く冷静に